# プログラム

## ライブ配信 11月27日(金)

会長講演 特別講演1 特別講演2 シンポジウム1 シンポジウム2 ワークショップ1 ワークショップ2 共催セミナー1 共催セミナー2 共催セミナー3 共催セミナー4 共催セミナー5 共催セミナー6 共催セミナー7 共催セミナー8 大原 毅賞受賞講演 田原榮一賞受賞講演

#### オンデマンド配信 11月27日(金)~ 12月31日(木)

理事長直轄プロジェクト 研究奨励賞発表

一般演題1 治療標的

一般演題2 癌間質細胞

一般演題3 腫瘍免疫

一般演題4 遺伝子異常

一般演題5 マーカー

一般演題6 浸潤・転移

一般演題7 分子病理

一般演題8 消化器癌症例

#### オンデマンド配信 12月4日(金)~ 12月31日(木)

会長講演 特別講演1 特別講演2 大原 毅賞受賞講演 田原榮一賞受賞講演 シンポジウム1 シンポジウム2 ワークショップ1 ワークショップ2

## ライブ配信 11月27日(金)

9:00 ~ 10:	20 シンポジウム1 『癌細胞社会の特性と制圧』 座長:安井 弥 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 分子病理学 座長:三森 功士 九州大学病院 別府病院 外科
S1-1	<b>癌関連線維芽細胞由来のスキルス胃癌細胞に対する新規増殖促進因子の検討</b> 14 ○櫛山 周平 <sup>1,2)</sup> 、八代 正和 <sup>1,2)</sup> 、西村 貞徳 <sup>1,2)</sup> 、栂野 真吾 <sup>1,2)</sup> 、黒田 顕慈 <sup>1,2)</sup> 、杉本 敦史 <sup>1,2)</sup> 、瀬良 知央 <sup>1,2)</sup> 、山本 百合恵 <sup>1)</sup> 、三木 友一朗 <sup>1,2)</sup> 、大平 雅一 <sup>2)</sup> 1)大阪市立大学大学院 医学研究科 癌分子病態制御学、2)大阪市立大学大学院 医学研究科 消化器外科
S1-2	大腸癌腹膜播種の病勢に骨髄由来免疫抑制細胞が及ぼす影響とその治療応用 14 ○山田 康太¹)、山下 公大¹)、杉田 裕²)、阿河 杏介¹)、渡部 晃大¹)、瀧口 豪介¹)、裏川 直樹¹)、長谷川 寛¹)、山本 将士¹)、金治 新悟¹)、松田 佳子¹)、松田 武¹)、押切 太郎¹)、中村 哲¹)、鈴木 知志¹)、掛地 吉弘¹) 1)神戸大学大学院 医学研究科 食道胃腸外科、2)公立八鹿病院
S1-3	<b>癌細胞及び癌関連線維芽細胞</b> (CAFs)を標的とした光免疫療法 15 ○小林 照貴、野間 和広、大原 利章、河﨑 健人、赤井 正明、西脇 紀之、前田 直見、菊地 覚次、 矢野 修也、田辺 俊介、田澤 大、白川 靖博、藤原 俊義 岡山大学大学院 医歯薬総合研究科 消化器外科学
S1-4	免疫正常マウスの胃癌腹膜播種線維化モデルにおける癌微小環境の解析と、 薬剤投与による癌制御の検討
S1-5	スキルス胃がんにおける線維芽細胞はがん浸潤の強い亢進作用を伴った特徴的な形質を示す 16 ○ Yoshimi Yasukawa, Naoko Hattori, Masahiro Maeda, Yasuyuki Seto, and Toshikazu Ushijima 国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野(Division of Epigenomics, National Cancer Center Research Institute)、東京大学大学院医学系研究科消化管外科学(Department of Gastrointestinal Surgery, Graduate School of Medicine, University of Tokyo)
S1-6	<b>胃癌進展における血小板の役割</b>
S1-7	胃癌原発病変と転移巣における CD36 発現と予後解析
S1-8	胃癌において癌ウイルス感染が誘導する ヘテロクロマチンリプログラミングとクロマチン構造異常

S1-9	<b>ライソゾーム酵素による膵臓癌におけるオートファジー調整機構の解明</b> ·············· 18 ○羽村 凌雅 <sup>1,2)</sup> 、白井 祥睦 <sup>1,2)</sup> 、谷合 智彦 <sup>1,2)</sup> 、柳垣 充 <sup>1,2)</sup> 、高田 直樹 <sup>1,2)</sup> 、堀内 堯 <sup>1,2)</sup> 、嶋田 洋太 <sup>2)</sup> 、鐘ヶ江 裕美 <sup>3)</sup> 、大橋 十也 <sup>2)</sup> 、池上 徹 <sup>1)</sup> 1)東京慈恵会医科大学 外科学講座 消化器外科、 2)東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 遺伝子治療研究部、 3)東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 基盤研究施設
S1-10	<b>腫瘍外縁、内縁、内部の各領域におけるCD8+T細胞の分布に注目した 肝内胆管癌の臨床病理学的検討</b> ○旭 火華 <sup>1)</sup> 、畑中 佳奈子 <sup>2)</sup> 、神山 俊哉 <sup>1)</sup> 、柿坂 達彦 <sup>1)</sup> 、折茂 達也 <sup>1)</sup> 、長津 明久 <sup>1)</sup> 、坂本 譲 <sup>1)</sup> 、 浦池 浩文 <sup>1)</sup> 、畑中 豊 <sup>3)</sup> 、武冨 紹信 <sup>1)</sup> 1)北海道大学 消化器外科 I、2)北海道大学病院 臨床研究開発センター、 3)北海道大学病院 ゲノム・コンパニオン診断研究部門
9:00 ~ 10	 :00 ワークショップ1『消化器癌治療の最前線』
	座長:落合 淳志 国立研究開発法人 国立がん研究センター 先端医療開発センター 座長:源 利成 金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍制御
W1-1	胃癌における CXCL1/CXCR2 シグナルの意義 54 ○山本 百合恵¹)、八代 正和¹,²)、瀬良 知央¹,²)、杉本 敦史¹,²)、櫛山 周平¹,²)、西村 貞徳¹,²)、 黒田 顕慈¹,²)、 栂野 真吾¹,²)、田村 達郎¹,²)、豊川 貴弘¹,²)、田中 浩明¹,²)、六車 一哉¹,²)、大平 雅一¹,²) 1)大阪市立大学大学院 医学研究科 癌分子病態制御学、2)大阪市立大学大学院 医学研究科 消化器外科
W1-2	NF- κB阻害剤を用いた膵癌肝転移抑制における変動 miRNAの解析 ────────────────────────────────────
W1-3	当院における胃・食道胃接合部腺癌に対する術前化学療法の治療成績の検討 55 ○裏川 直樹、山本 将士、金治 新悟、松田 佳子、山下 公大、松田 武、押切 太郎、中村 哲、 鈴木 知志、掛地 吉弘 神戸大学大学院 医学研究科 外科学講座食道胃腸外科学分野
W1-4	胃癌患者由来癌関連線維芽細胞は癌 - 間質相互作用を介して
	胃癌細胞株の浸潤能を高める ○ 龍崎 貴寛、村上 健太郎、坂田 治人、上里 昌也、早野 康一、加野 将之、遠藤 悟史、豊住 武司、 松本 泰典、水藤 広、浦濱 竜馬、磯崎 哲朗、岡田 晃一郎、鎌田 敏希、平澤 壮一郎、木下 和也、 佐々木 拓馬、松原 久裕 千葉大学大学院 医学研究院 先端応用外科学
W1-5	スキルス胃癌細胞由来 EVs は腹膜中皮細胞に間葉系形質転換を引き起こす
W1-6	4,260名の無症候検診コホートの解析による胃発癌リスク因子の探索と
	胃粘膜に蓄積した DNA メチル化の解析

VV I-7	POLE 変異 人 勝癌 の
W1-8	Colitic cancer における DNA2 重鎖切断修復応答に伴う PD-L1 発現の検討
W1-9	大腸癌における Glycocalyx を構成している Syndecan-1 の役割
W1-10	消化器癌早期診断血清バイオマーカー TFF3の上昇機序の解明
10:30 ~ 1	##セミナー1         共催:ファイザー株式会社         座長:夏越 祥次 医療法人 玉昌会 加治木温泉病院
ES-1	これからのがん治療におけるバイオシミラーの役割とその導入事例 — ベバシズマブバイオシミラーを含めて—
10:30 ~ 1	  11:10 <b>共催セミナー 2</b>   共催: エーザイ株式会社   座長: 太田 哲生 湖南学院
ES-2	進行肝がんに対する治療新時代を迎えて — 実臨床におけるレンバチニブを含む集学的治療の総括 — 28 竹村 茂一 大阪市立大学 大学院医学研究科 肝胆膵外科学
11:20 ~ 1	2:00 共催セミナー 3         共催:ミヤリサン製薬株式会社         座長:島田 光生 徳島大学大学院 消化器・移植外科学
ES-3	<b>腸内細菌と消化器癌の発育・進展</b>

11:20 ~ 12	2:00 共催セミナー 4 共催:日本化薬株式会社 座長:掛地 吉弘 神戸大学大学院 医学研究科 外科学講座 食道胃腸外科学	
ES-4	消化器癌におけるオキサリプラチンの臨床的意義 杉本 直俊 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 腫瘍内科 兼 遺伝子診療部	}2
12:10 ~ 12	2:55 特別講演1 座長:前原喜彦 九州中央病院	_
	がんの起源について	6
13:05 ~ 13	3:50 特別講演2 座長:八代正和 大阪市立大学大学院 医学研究科 癌分子病態制御学	_
	Role of Tumor Microenvironment on Gastric Cancer Progression  Hoon Hur, MD, PhD  Professor, Department of Surgery, Ajou University School of Medicine, Suwon, Korea  Cancer Biology Program, Ajou University Graduate School of Medicine, Suwon, Korea	7
13:50 ~ 14	4:30 <b>共催セミナー 5</b> 共催:日本イーライリリー株式会社 座長:大辻 英吾 京都府立医科大学大学院 医学研究科 消化器外科学	_
ES-5	チームで取り組む!がん化学療法~胃がん化学療法を中心に~	4
14:00 ~ 14	4:20 <b>大原毅賞受賞講演</b> 座長:上西 紀夫 公立昭和病院	_
	肝胆膵悪性腫瘍における宿主および腫瘍免疫の意義とストレス応答の役割	Ο
14:30 ~ 14	4:50 <b>田原榮一賞受賞講演</b> 座長:田原 榮一 公益財団法人 広島がんセミナー	_
	<b>胃がん間質ダイバーシティの解明と治療標的の創出</b> 石本 崇胤 <sup>1,2)</sup> 、馬場 秀夫 <sup>1)</sup> 1)熊本大学大学院 消化器外科学、2)熊本大学 国際先端医学研究機構(IRCMS) 消化器がん生物学	[2

14:35~15:15 共催セミナー6

	共催:大鵬薬品工業株式会社 座長:森 正樹 九州大学大学院 医学研究院 消化器・総合外科	
ES-6	進行再発大腸癌化学療法における後方治療戦略とロンサーフの位置づけ 長谷川 晶子 大阪国際がんセンター 腫瘍内科	36
15:00 ~ 16	6:20 シンポジウム2『消化器癌のPrecision Medicine』 座長: 汐田 剛史 鳥取大学 医学部 ゲノム再生医学講座 遺伝子医療学分野 座長: 瀬戸 泰之 東京大学大学院 医学系研究科 消化管外科学	
S2-1	HPV関連頭頸部扁平上皮癌のクロマチン3次元構造解析 ○美馬 勝人¹¹、岡部 篤史²¹、星居 孝之²¹、中川 拓也³¹、黒川 友哉³¹、近藤 悟⁴¹、福世 真樹²¹、 Bahityar Rahmutulla²¹、藤木 亮次²¹、三澤 清¹¹、峯田 周幸¹¹、金田 篤志²¹ 1)浜松医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科、2)千葉大学大学院 医学研究院 分子腫瘍学、 3)千葉大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科頭頸部腫瘍学、4)金沢大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科	19
S2-2	Liquid biopsy を用いた大腸癌 Precision Surgery  ○山田 岳史、松田 明久、太田 竜、園田 寛道、進士 誠一、高橋 吾郎、岩井 拓磨、武田 幸樹、上田 康二、栗山 翔、宮坂 俊光、吉田 寛 日本医科大学 消化器外科	19
S2-3	胃癌患者における循環腫瘍細胞(CTC)の臨床的意義 <b>~特に上皮間葉転換と周術期動態に注目して~</b> 石黒 友唯 <sup>1,2)</sup> 、崎浜 秀康 <sup>2)</sup> 、吉田 雅 <sup>2)</sup> 、市川 伸樹 <sup>2)</sup> 、本間 重紀 <sup>2)</sup> 、深井 原 <sup>2)</sup> 、川村 秀樹 <sup>2)</sup> 、 高橋 典彦 <sup>2)</sup> 、武富 紹信 <sup>2)</sup> 1) 釧路労災病院 外科、2) 北海道大学大学院 消化器外科学分野 I	20
S2-4	クラスター分析を用いた胃癌腫瘍内発現蛋白および遺伝子の不均一性の検討 〇辻尾 元 $^{1-3)}$ 、八代 正和 $^{1-3)}$ 、山本 百合恵 $^{2,3)}$ 、瀬良 知央 $^{1-3)}$ 、杉本 敦史 $^{1-3)}$ 、櫛山 周平 $^{1-3)}$ 、西村 貞德 $^{1-3)}$ 、吉井 真美 $^{1)}$ 、田村 達郎 $^{1)}$ 、豊川 貴弘 $^{1)}$ 、田中 浩明 $^{1)}$ 、六車 一哉 $^{1)}$ 、大平 雅 $^{-1}$ 1)大阪市立大学大学院 消化器外科学、2)大阪市立大学大学院 癌分子病態制御学、3)大阪市立大学大学院 難治癌 TR センター	20
S2-5	原発性肝癌における腫瘍免疫と癌代謝との関係	21
S2-6	食道癌における PD-L1/L2 発現は原発腫瘍と再発病変で一致するか? ○岡留 一雄、馬場 祥史、野元 大地、問端 輔、中村 健一、小川 克大、澤山 浩、岩槻 政晃、石本 崇胤、岩上 志朗、宮本 裕士、吉田 直矢、馬場 秀夫 熊本大学大学院 消化器外科学	21
S2-7	<b>胃神経内分泌細胞癌においてはHER2よりも PD-1/PD-L1 経路が有望な治療標的である</b> ○山下 智 <sup>1,2)</sup> 、阿部 浩幸 <sup>1)</sup> 、国田 朱子 <sup>1)</sup> 、山下 裕玄 <sup>2)</sup> 、瀬戸 泰之 <sup>2)</sup> 、牛久 哲男 <sup>1)</sup> 1)東京大学大学院 医学系研究科 人体病理学・病理診断学、2)東京大学大学院 医学系研究科 消化管外科学	22

52-8	放射線冶療は、腫瘍内CD8 1 和胞の増加とサイトガイン産生を増強し、 抗腫瘍効果に寄与する ○ ○ 阿河 杏介、山下 公大、山田 康太、渡辺 晃大、瀧口 豪介、裏川 直樹、長谷川 寛、山本 将士、金治 新悟、松田 佳子、松田 武、押切 太郎、中村 哲、鈴木 知志、掛地 吉弘 神戸大学大学院 食道胃腸外科学分野	22
S2-9	肝がんにおける Diacylglycerol Kinase $\alpha$ を介した抗腫瘍免疫の制御	23
S2-10	進行再発胃癌組織中に高発現する受容体 NPTXR を標的とした抗体医薬の開発 ○神田 光郎、清水 大、猪川 祥邦、服部 憲史、林 真路、田中 千恵、山田 豪、中山 吾郎、 小池 聖彦、小寺 泰弘 名古屋大学 消化器外科学	23
15:20 ~ 16	6:30 <b>ワークショップ2『癌の進展と病態解析</b> 』 座長:伊東文生 聖マリアンナ医科大学消化器・肝臓内科 座長: 菅井 有 岩手医科大学 医学部 病理学講座	
W2-1	スキルス胃癌の新規予後診断マーカー LCN2の同定と臨床的有用性	59
W2-2	低分化胞巣数の多い Stage Ⅲ 大腸癌では補助化学療法に FOLFOX/CAPOX を施行しても予後不良である	59
W2-3	<b>膵癌における血管新生抑制を介したエスシンの抗腫瘍効果の検討</b> ○大見 関、松尾 洋一、上田 悟郎、青山 佳永、加藤 知克、林 祐一、今藤 裕之、齊藤 健太、坪井 謙、森本 守、小川 了、高橋 広城、瀧口 修司 名古屋市立大学 消化器外科学	60
W2-4	胃癌における治療標的としてのHMGB1の役割  ○多加喜 航、小西 博貴、庄田 勝俊、有田 智洋、清水 浩紀、塩﨑 敦、窪田 健、藤原 斉、岡本 和真、大辻 英吾 京都府立医科大学 消化器外科学教室	60
W2-5	直腸癌に対する Ta-TME併用直腸切断術の手術手技と手術成績 〇山内 沙耶、松田 武、山下 公大、長谷川 寛、瀧口 豪介、裏川 直樹、山本 将士、金治 新悟、 松田 佳子、押切 太郎、中村 哲、鈴木 知志、掛地 吉弘 神戸大学大学院 食道胃腸外科	61
W2-6	同時性遠隔転移巣切除大腸癌患者の臨床病理学的予後因子の検討 ····································	61
W2-7	切除不能進行食道癌に対する集学的治療の現状と手術介入の可能性 ○宗田 真、渡邊 隆嘉、斎藤 秀幸、生方 泰成、中澤 信博、栗山 健吾、原 圭吾、酒井 真、 佐野 彰彦、横堀 武彦、緒方 杏一、小川 博臣、調 憲、佐伯 浩司 群馬大学大学院 総合外科学講座	62

W2-8	Stage IV 胃癌における Conversion Surgery 達成を予測する因子の検討	
W2-9	Stage IV 胃癌に対する conversion surgery の再検討   ○ 菊池 寛利 $^{1)}$ 、曽根田 亘 $^{1)}$ 、川田 三四郎 $^{1)}$ 、廣津 周 $^{1)}$ 、村上 智洋 $^{1)}$ 、松本 知拓 $^{1)}$ 、平松 良浩 $^{2)}$ 、神谷 欣志 $^{1)}$ 、森田 剛文 $^{1)}$ 、竹内 裕也 $^{1)}$ 1)浜松医科大学 外科学第二講座、2)浜松医科大学 周術期等生活機能支援学講座	
W2-10	腹膜中皮細胞の Tks5 発現と胃癌予後との関連性の検討	3
16:30 ~ 1	16:50 <b>会長講演</b> 座長:島田 光生 徳島大学大学院 消化器・移植外科学	_
	スキルス胃癌の細胞社会を解き明かす 大平 雅一 大阪市立大学大学院 消化器外科学、乳腺・内分泌外科学	4
17:00 ~ 1	17:40 共催セミナー 7 共催:小野薬品工業株式会社/ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 座長:松原 久裕 千葉大学大学院 医学研究院 先端応用外科学	_
ES-7	<b>切除不能食道癌に対する諦めない治療</b> 山﨑 誠 大阪大学大学院 外科学講座 消化器外科学	8
17:00 ~ 1	  7:40 <b>共催セミナー8</b>   共催:中外製薬株式会社   座長:吉田和弘   岐阜大学大学院 医学系研究科 腫瘍外科学分野	_
ES-8	がんゲノム医療の現状	Э

### オンデマンド配信 11月27日(金)~12月31日(木)

理事長直	轄プロジェクト
SP-1	食道胃接合部がんの起源組織を予測する DNAメチル化マーカーの開発
SP-2	胃癌における T cell inflamed gene expression signature を用いた43○八木 泰佑¹¹、中村 健一³¹、畠山 慶一²¹、古川 健一朗¹¹、藤谷 啓一¹¹、神谷 諭¹¹、日景 允¹¹、谷澤 豊¹¹、坂東 悦郎¹¹、山口 建²¹、寺島 雅典¹¹1)静岡県立静岡がんセンター 胃外科、2)静岡県立静岡がんセンター研究所、3)熊本大学大学院 消化器外科学
SP-3	胃がんのがん関連線維芽細胞において SAA1 は エンハンサー活性化により高発現となる 44 安川 佳美 国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野 (Division of Epigenomics, National Cancer Center Research Institute)、東京大学大学院 医学系研究科 消化管外科学 (Department of Gastrointestinal Surgery, Graduate School of Medicine, University of Tokyo)
SP-4	<b>肝内胆管癌におけるゲノム多様性と新規癌代謝機構の解明</b>
研究奨励	
RS-1	青色LEDによる大腸癌の光受容体をターゲットとする治療法の開発
RS-2	スフェロイド培養による胃底腺幹細胞マーカーの同定
RS-3	肝癌増殖におけるオートファジーアダプター蛋白質 optineurin 発現の意義 ············· 49 ○井口 詔一、吉住 朋晴、戸島 剛男、伊勢田 憲史、伊藤 心二、原田 昇、森 正樹 九州大学大学院 消化器・総合外科
RS-4	Cancer associated fibroblasts 由来細胞外小胞による 胃がん薬剤治療抵抗性メカニズムの解明 (49 ○内原 智幸 <sup>1,2)</sup> 、石本 崇胤 <sup>1,2)</sup> 、馬場 秀夫 <sup>1)</sup> 1)熊本大学大学院 消化器外科学、

HS-5	肝細胞瘤の鬼疫チェックホイント(B/ family)発現前側における CMTM6発現の意義
	〇村主 遼 $^{1}$ 、星野 弘毅 $^{1}$ 、萩原 慶 $^{1}$ 、石井 範洋 $^{1}$ 、塚越 真梨子 $^{1}$ $^{2}$ 、五十嵐 隆通 $^{1}$ 、渡辺 亮 $^{1}$ 、久保 憲生 $^{1}$ 、新木 健一郎 $^{1}$ 、横堀 武彦 $^{3}$ 、播本 憲史 $^{1}$ 、調 憲 $^{1}$
	1) 群馬大学大学院 総合外科学講座 肝胆膵外科学、2) 群馬大学 先端腫瘍免疫治療学、 3) 群馬大学 未来先端機構(GIAR) 統合腫瘍学研究部門
RS-6	胃癌発生に関与する CDX2 と IL-6/STAT3 シグナルの検討
	〇山田 玲央、斎藤 元伸、遠藤 英成、加瀬 晃志、菅家 康之、渡辺 洋平、花山 寛之、小野澤 寿志、岡山 洋和、坂本 渉、藤田 正太郎、佐瀬 善一郎、門馬 智之、三村 耕作、河野 浩二福島県立医科大学 消化管外科学講座
RS-7	胃癌転移形成関連分子LAMP5の同定と機能解析 51
	○梅田 晋一、神田 光郎、清水 大、田中 千恵、園原 史訓、高見 秀樹、猪川 祥邦、服部 憲史、林 真路、山田 豪、中山 吾郎、小池 聖彦、藤原 道隆、小寺 泰弘 名古屋大学大学院 医学系研究科 消化器外科学
一般演題1	治療標的
P1-1	FDG-PET, FAMT-PET を利用した食道扁平上皮癌における 局所腫瘍免疫状態の評価
	同用種場免疫(A)思の評価 ○栗山 健吾、横堀 武彦、斉藤 秀幸、生方 泰成、中澤 信博、吉田 知典、原 圭吾、佐野 彰彦、 酒井 真、宗田 真、桑野 博行、調 憲、佐伯 浩司 群馬大学大学院 総合外科学
P1-2	GSK3βは膵がんのゲムシタビン耐性獲得に寄与する 66
	〇上原 将大 $^{1)}$ 、堂本 貴 $^{2}$ 、竹中 哲 $^{1,2)}$ 、ディリラバ ボリドン $^{1)}$ 、竹内 修 $^{3)}$ 、宮下 知治 $^{2,4)}$ 、源 利成 $^{1)}$ 1)金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍制御、2)金沢大学 消化器・腫瘍・再生外科学、3)北里研究所病院 研究部 バイオメディカル・ラボ、4)金沢医科大学 腫瘍外科学
P1-3	5-FU耐性胃がんオルガノイドを用いたメタボローム解析
	O Naoya Sakamoto <sup>1,2)</sup> , Kazuhito Naka <sup>3)</sup> , Shoichi Ukai <sup>1)</sup> , Daiki Taniyama <sup>1)</sup> , Atsushi Ochiai <sup>2)</sup> , Wataru Yasui <sup>1)</sup> 1) Department of Molecular Pathology, Graduate School of Biomedical & Health Sciences, Hiroshima University 2) Division of Pathology, Exploratory Oncology Research & Clinical Trial Center, National Cancer Center 3) Department of Stem Cell Biology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University
P1-4	GSK3β阻害による食道扁平上皮がんの治療効果とメカニズム
	<ul> <li>○ボリドン ディリレバ¹¹、堂本 貴寛¹¹、上原 将大¹¹、奥村 知之⁴³、遠藤 良夫²¹、中田 光俊³¹、</li> <li>二宮 致⁴¹、宮下 知治⁴¹、ウォン リチャード⁵¹、源 利成¹¹</li> </ul>
	1) 金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍制御、2) 金沢大学 がん進展制御研究所 中央実験施設、3) 金沢大学 脳神経外科、4) 金沢大学 消外外科、5) 金沢大学 ナノ生命科学研究所、6) 富山大学 消化器腫瘍総合外科
P1-5	FGFR2増幅を有する胃癌の腫瘍浸潤性免疫細胞のプロファイルについての検討 68
	○城後 友望子、胡 慶江、藤本 禎明、鉾之原 健太郎、中西 良太、久松 雄一、安藤 幸滋、木村 和恵、沖 英次、森 正樹 九州大学大学院 消化器・総合外科
P1-6	胃癌におけるβアラニンの抗腫瘍効果の検討
	○加治 早苗¹¹、折田 創¹¹、李 賢哲²¹、スレスタ サントス¹¹、福永 哲¹¹ 1)順天堂大学 医学部 消化器低侵襲外科講座、2)順天堂大学 医学部 生化学第一講座
P1-7	長鎖非コード RNA NEAT1 と p21 <sup>CDKN1A</sup> による肝癌幹細胞制御メカニズム 69 ○土谷 博之、汐田 剛史 鳥取大学 医学部 遺伝子医療学分野

一般演題2	癌間質細胞	
P2-1	がん関連線維芽細胞由来 IL-6制御による免疫応答の効率化 "Drug repositioning" によるがん治療の可能性	59
P2-2	フローサイトメトリーを用いた大腸癌組織における細胞別 PD-L1 発現解析 7 ○齋藤 晶 $^{1}$ 、金子 勇貴 $^{1}$ 、田村 昂平 $^{2}$ 、風當 ゆりえ $^{1}$ 、髙橋 和也 $^{1}$ 、木村 有希 $^{1}$ 、東條 峰之 $^{1}$ 、 熊谷 祐子 $^{1}$ 、大澤 英之 $^{1}$ 、堀江 久永 $^{1}$ 、佐田 尚宏 $^{1}$ 、北山 丈二 $^{1}$ 1)自治医科大学附属病院 消化器一般移植外科、2)自治医科大学附属病院 産科婦人科講座	<sup>7</sup> C
P2-3	膵癌微小環境における細胞外マトリックス Thrombospondin-1の 分子生物学的意義に関する検討 7 ○松村 和季、林 洋光、上村 紀雄、北村 文優、伊東山 瑠美、中尾 陽佑、遊佐 俊彦、今井 克憲、山下 洋市、馬場 秀夫 熊本大学大学院 消化器外科学	7C
P2-4	<b>胃癌間質における Thrombospondin 4発現の意義</b> ────────────────────────────────────	71
P2-5	癌微小環境における胃癌浸潤に関わる分子メカニズムの解明  ○秋山 貴彦 <sup>1,2)</sup> 、石本 崇胤 <sup>1,2)</sup> 、三宅 慧輔 <sup>1,2)</sup> 、米村 敦子 <sup>1,2)</sup> 、北村 文優 <sup>1,2)</sup> 、安田 忠仁 <sup>1,2)</sup> 、伊東山 瑠美 <sup>1,2)</sup> 、内原 智幸 <sup>1,2)</sup> 、吉田 直矢 <sup>1)</sup> 、馬場 秀夫 <sup>1)</sup> 1)熊本大学大学院 消化器外科学、 2) Gastrointestinal Cancer Biology, International Research Center of Medical Sciences (IRCMS), Kumamoto University	71
P2-6	<b>癌関連線維芽細胞はPAI-1の分泌を介して食道扁平上皮癌の進展に寄与する</b> グ 仮本 浩輝 $^{1,2)}$ 、佐藤 経雄 $^{1)}$ 、藤田 知樹 $^{1)}$ 、浦上 聡 $^{1,3)}$ 、北村 優 $^{1,2)}$ 、谷川 航平 $^{1,2)}$ 、清水 将来 $^{1,2)}$ 、 児玉 貴之 $^{1)}$ 、藤川 正隆 $^{1,2)}$ 、西尾 真理 $^{1)}$ 、 重岡 學 $^{1)}$ 、狛 雄一朗 $^{1)}$ 、掛地 吉弘 $^{2)}$ 、横崎 宏 $^{1)}$ 1)神戸大学 医学研究科 病理学講座病理学分野、2)神戸大学 医学研究科 内科学講座省化器内科学分野、3)神戸大学 医学研究科 内科学講座消化器内科学分野	72
P2-7	RNAメチル化酵素 METTL3 と消化管癌の関連性の探索 ○工藤 健介、南原 翔、津田 康雄、楠元 英次、橋本 健吉、坂口 善久、楠本 哲也、池尻 公二 国立病院機構 九州医療センター 消化管外科 がん臨床研究部	72
一般演題3	腫瘍免疫	
P3-1	肝内胆管癌予後規定因子としてのLymphocyte/CRP ratio (LCR)の意義と腫瘍浸潤リンパ球 (Tumor infiltrating lymphocytes)との関係 (宮崎 克己¹)、森根 裕二¹)、居村 暁¹)、池本 哲也¹)、齋藤 裕¹)、山田 眞一郎¹)、徳田 和憲¹)、沖川 昌平¹)、山下 祥子¹・²)、尾矢 剛志²)、常山 幸一³)、島田 光生¹)1)徳島大学 消化器外科、2)徳島大学大学院 医歯薬学研究部 分子病理学分野、3)徳島大学大学院 医歯薬学研究部 疾患病理学分野	73
P3-2	胃癌細胞における Trastuzumab が与える PD-L1 発現への影響 ────────────────────────────────────	73

P3-3	胃癌 HER2 増幅症例における腫瘍局所免疫環境の検討
P3-4	胃癌組織における CD103 + T細胞と CD8 + 腫瘍浸潤リンパ球に関する検討 74 ○森 拓哉、田中 浩明、出口 惣大、三木 友一朗、吉井 真美、田村 達郎、豊川 貴弘、李 栄柱、六車 一哉、大平 雅一 大阪市立大学大学院 消化器外科
P3-5	Fusobacterium nucleatum, CD8 <sup>+</sup> T cells and tumor associated macrophages in colorectal cancer liver metastasis ———————————————————————————————————
P3-6	食道扁平上皮癌における Tertiary Lymphoid Structures (TLS)の影響
P3-7	大腸がんに対する腫瘍溶解性ウイルスを用いたがん免疫療法の基礎的検討
P3-8	消化器癌における術前末梢血PD-1陽性リンパ球についての検討
一般演題4	
P4-1	大腸鋸歯状病変における SMOC1 遺伝子メチル化異常の検討
P4-2	大腸癌における新規癌遺伝子 GET4の機序解明
P4-3	根治的化学放射線療法耐性である食道扁平上皮癌におけるFGF5遺伝子の役割 78 ○ Kazuhiro Nishiyama <sup>1,2)</sup> , Hideyuki Takeshima <sup>1)</sup> , Satoshi Yamashita <sup>1)</sup> , Jun Iwabu <sup>3)</sup> , Hiroyasu Igaki <sup>4)</sup> , Yuji Tachimori <sup>4)</sup> , Hiroyuki Daiko <sup>4)</sup> , Yoshiharu Sakai <sup>2)</sup> , Toshikazu Ushijima <sup>1)</sup> 1) Division of Epigenomics, National Cancer Center Research Institute, Tokyo, Japan 2) Department of Surgery, Kyoto University, Japan, 3) Department of Surgery, Kochi Medical School, Kochi, Japan 4) Division of Esophageal Surgery, National Cancer Center Hospital, Tokyo, Japan
P4-4	<b>EBV陽性上咽頭癌におけるヒストン修飾異常</b>

P4-5	/ <b>衝染巴体上の入肠癌新規癌退伝子である GTF21RD1 の同定</b> ○ 南原 翔、津田 康雄、工藤 健介、楠元 英次、橋本 健吉、坂口 善久、楠本 哲也、池尻 公二 独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター 消化管外科 臨床研究センター	79
P4-6	5-FU耐性胃癌オルガノイドの樹立とその癌遺伝学的解析 ○鵜飼 翔一¹)、坂本 直也¹)、本間 りりの¹)、Quoc Thang Pham¹)、原田 健司¹)、高島 剛志¹)、谷山 大樹¹)、仲 一仁²)、田邉 和照³)、大段 秀樹⁴)、安井 弥¹) 1)広島大学大学院 医系科学研究科 分子病理学、2)広島大学 原爆放射線医科学研究所 幹細胞機能学、3)広島大学大学院 医系科学研究科 成人健康学、4)広島大学大学院 医系科学研究科 消化器移植外科学	79
P4-7	次世代シークエンサーを用いた RNA-seq による スキルス胃癌ドライバー遺伝子の探索  ○瀬良 知央 $^{1,2}$ 、八代 正和 $^{1,2}$ 、辻尾 元 $^{1,2}$ 、山本 百合恵 $^{1}$ 、杉本 敦史 $^{1,2}$ 、櫛山 周平 $^{1,2}$ 、西村 貞德 $^{1,2}$ 、根野 真吾 $^{1,2}$ 、黒田 顕慈 $^{1,2}$ 、大平 雅 $^{2}$ 1)大阪市立大学大学院 医学研究科 消化器外科、2)大阪市立大学大学院 医学研究科 癌分子病態制御学	80
P4-8	日本人胃腺がんにおける TCGA、ACRG 分類とその生存転帰に与える影響 ○古川 健一朗¹ <sup>1</sup> 、畠山 慶一² <sup>2</sup> 、藤谷 啓一¹ <sup>1</sup> 、神谷 愉¹ <sup>1</sup> 、日景 允¹ <sup>1</sup> 、谷澤 豊¹ <sup>1</sup> 、坂東 悦郎¹ <sup>1</sup> 、 杉浦 禎一³ <sup>3</sup> 、塩見 明生³ <sup>3</sup> 、寺島 雅典¹ <sup>1</sup> 、山口 建⁴ <sup>1</sup> 1) 静岡がんセンター 胃外科、2) 静岡がんセンター研究所 遺伝子診療研究部、 3) 静岡がんセンター 消化器外科、4) 静岡がんセンター	80
一般演題:	5 マーカー	
P5-1	胃癌細胞株における PARP 阻害薬のバイオマーカー探索 ····································	81
P5-2	胃癌予後と STRA6 遺伝子発現の関連性の検討 ○中村 俊介、神田 光郎、清水 大、林 真路、田中 千恵、山田 豪、中山 吾郎、小池 聖彦、藤原 道隆、小寺 泰弘 名古屋大学大学院 医学研究科 消化器外科学	81
P5-3	当院における85歳以上超高齢者大腸癌に対する手術リスク評価法 Estimation of Physiologic Ability and Surgical Stressの有用性の検討	82
P5-4	早期胃癌においてAnnexin A10発現消失は予後不良と関係する  Akira Ishikawa <sup>1)</sup> , Kazuya Kuraoka <sup>1,2)</sup> , Junichi Zaitsu <sup>2)</sup> , Akihisa Saito <sup>2)</sup> , Toshio Kuwai <sup>3)</sup> , Takahisa Suzuki <sup>4)</sup> , Hirotaka Tashiro <sup>4)</sup> , Kiyomi Taniyama <sup>5)</sup> , Wataru Yasui <sup>6)</sup> Department of Clinical Laboratory, National Hospital Organization, Kure Medical Center and Chugoku Cancer Ce Department of Diagnostic Pathology, National Hospital Organization, Kure Medical Center and Chugoku Cancer Ce Department of Gastroenterology, National Hospital Organization, Kure Medical Center and Chugoku Cancer Center Department of Surgery, National Hospital Organization, Kure Medical Center, Chugoku Cancer Center Honorary President, National Hospital Organization, Kure Medical Center, Chugoku Cancer Center Department of Molecular Pathology, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University	entei entei iter
P5-5	胃癌における MAGEA6の新規バイオマーカーとしての有用性の検討 ○澤木 康一、神田 光郎、清水 大、高見 秀樹、猪川 祥邦、服部 憲史、林 真路、田中 千恵、 山田 豪、中山 吾郎、小池 聖彦、藤原 道隆、小寺 泰弘 名古屋大学 医学部 消化器外科学	83

P5-6	胃癌における Leucine-Rich Repeat-Containing protein 8A (LRRC8A)の役割と 予後に与える影響について	
	○倉島 研人 $^{1}$ 、塩﨑 敦 $^{1}$ 、小菅 敏幸 $^{1,2}$ 、清水 浩紀 $^{1}$ 、工藤 道弘 $^{1,3}$ 、有田 智洋 $^{1}$ 、山本 有祐 $^{1}$ 、小西 博貴 $^{1}$ 、森村 玲 $^{1}$ 、栗生 宜明 $^{1}$ 、生駒 久視 $^{1}$ 、窪田 健 $^{1}$ 、藤原 斉 $^{1}$ 、岡本 和真 $^{1}$ 、大辻 英吾 $^{1}$ 1)京都府立医科大学 消化器外科、2)済生会 滋賀県病院 外科、3)京都岡本記念病院 消化器外科	J
P5-7	Tumor tissue MIR92a and plasma MIRs21 and 29a as predictive biomarkers	0
	associated with clinicopathological features  Masahiro Fukada <sup>1)</sup> , Nobuhisa Matsuhashi <sup>1)</sup> , Takao Takahashi <sup>1)</sup> , Nobuhiko Sugito <sup>2)</sup> , Kazuki Heishima <sup>2)</sup> , Yukihiro Akao <sup>2)</sup> , Kazuhiro Yoshida <sup>1)</sup> Department of Surgical Oncology, Graduate School of Medicine, Gifu University, Gifu, Japan  United Graduate School of Drug Discovery and Medical Information Sciences, Gifu University, Gifu, Japan	04
P5-8	下部進行直腸癌における CRT 後のリンパ球 CRP 比(LCR) は	
	<b>予後不良因子となる</b> ○江藤 祥平、西 正暁、良元 俊昭、髙須 千絵、柏原 秀也、徳永 卓哉、中尾 寿宏、東島 潤、吉川 幸造、島田 光生 徳島大学 外科学	84
P6-1	<b>鼠径リンパ節転移陽性直腸癌に対する治療戦略</b> ○加藤 喬、松田 武、長谷川 寛、山下 公大、内海 昌子、瀧口 豪介、裏川 直樹、山本 将士、金治 新悟、松田 佳子、押切 太郎、中村 哲、鈴木 知志、掛地 吉弘神戸大学医学部附属病院 食道胃腸外科	85
P6-2	ARID1A発現と肝細胞癌予後に関する検討	85
P6-3	ソラフェニブ耐性肝癌において、	
	Nrf2 は幹細胞性・遊走能・ABCトランスポーター発現を促進する 〇山田 眞一郎、高 露萍、森根 裕二、居村 暁、池本 哲也、齋藤 裕、宮崎 克己、島田 光生 徳島大学 消化器・移植外科	86
P6-4	腫瘍関連マクロファージ由来のCCL1はCCR8を介して	
	<b>食道扁平上皮癌の運動能・浸潤能を亢進させる</b> ○藤川 正隆 <sup>1,2)</sup> 、佐藤 経雄 <sup>1)</sup> 、藤田 知樹 <sup>1)</sup> 、浦上 聡 <sup>1,3)</sup> 、北村 優 <sup>1,2)</sup> 、児玉 貴之 <sup>1)</sup> 、清水 将来 <sup>1,2)</sup> 、谷川 航平 <sup>1,2)</sup> 、坂本 浩輝 <sup>1,2)</sup> 、西尾 真理 <sup>1)</sup> 、重岡 學 <sup>1)</sup> 、狛 雄一朗 <sup>1)</sup> 、掛地 吉弘 <sup>2)</sup> 、横崎 宏 <sup>1)</sup> 1)神戸大学大学院 医学研究科 病理学講座病理学分野、 2)神戸大学大学院 医学研究科 外科学講座食道胃腸外科学分野、 3)神戸大学大学院 医学研究科 内科学講座消化器内科学分野	86
P6-5	肝細胞癌における長鎖非コードRNA NEAT1とCD44発現および予後との関連	87
	〇土谷 博之 $^{1)}$ 、網崎 正孝 $^{2)}$ 、藤原 義之 $^{2)}$ 、汐田 剛史 $^{1)}$ 1) 鳥取大学 医学部 遺伝子医療学分野、2) 鳥取大学 医学部 病態制御外科学分野	
P6-6	腫瘍先進部―漿膜間距離(DIFS)測定は治癒切除したT3胃癌の 腹膜播種再発の予測に有用である	Q_
	<b>  限   投   投   投   投   投   と   と   と   と   と</b>	ο7

P6-7	電気穿孔法による胃癌由来エクソソームを用いた新規抗がん剤治療法の確立 で へ下 和也、松本 泰典、加野 将之、村上 健太郎、坂田 治人、遠藤 悟史、豊住 武司、岡田 晃一郎、鎌田 敏希、龍崎 貴寛、平澤 壮一朗、佐々木 拓馬、松原 久裕 千葉大学大学院 医学研究院 先端応用外科学	88
P6-8	miR-29b はヒト由来腹膜中皮細胞の中皮間葉転換を抑制する ○木村 有希、大澤 英之、金子 勇貴、風當 ゆりえ、田村 昂平、髙橋 和也、齋藤 晶、東條 峰之、 熊谷 裕子、佐田 尚宏、北山 丈二 自治医科大学 消化器一般移植外科、自治医科大学 産科婦人科、自治医科大学 臨床腫瘍科	88
一般演題7	· 分子病理	_
P7-1	大腸癌における DOCK1 発現の意義	89
P7-2	<ul><li>肥満関連大腸癌発癌についての研究</li><li>○松井 信平、岡林 剛史、茂田 浩平、清島 亮、北川 雄光</li><li>慶應義塾大学 医学部 外科学教室</li></ul>	89
P7-3	大腸癌における CLIC3 の 臨床病理学的な意義について ○赤羽 慎太郎 <sup>1,2)</sup> 、大上 直秀 <sup>1)</sup> 、藤木 佑斗 <sup>1)</sup> 、谷山 大樹 <sup>1)</sup> 、仙谷 和弘 <sup>1)</sup> 、清水 亘 <sup>2)</sup> 、大段 秀樹 <sup>2)</sup> 、 安井 弥 <sup>1)</sup> 1)広島大学大学院 分子病理学、2)広島大学大学院 消化器・移植外科学	)0
P7-4	<b>ウイルス関連膵癌の探索</b> ○与儀 憲和 <sup>1,2)</sup> 、岡部 篤史 <sup>1)</sup> 、臼井 源紀 <sup>1,3)</sup> 、福世 真樹 <sup>1)</sup> 、関 元昭 <sup>1)</sup> 、大塚 将之 <sup>2)</sup> 、金田 篤志 <sup>1)</sup> 1)千葉大学大学院 分子腫瘍学、2)千葉大学大学院 臓器制御外科学、 3)東京大学大学院 医学系研究科 病因・病理学専攻人体病理学・病理診断学	)0
P7-5	<ul> <li>Stage I 膵癌の特徴と再発危険因子の同定</li> <li>○間野 洋平¹¹、杉町 圭史¹¹、松本 佳大¹¹、中ノ子 智徳²¹、上原 英雄²¹、杉山 雅彦²¹、中島 雄一郎²¹、太田 光彦²²、森田 勝²¹、藤 也寸志²¹</li> <li>1) 九州がんセンター 肝胆膵外科、2) 九州がんセンター 消化管外科</li> </ul>	91
P7-6	結腸癌における NADPH oxidese2 の臨床的意義 ○滝口 光一 $^{1}$ 、清水 浩紀 $^{1}$ 、古屋 信二 $^{2}$ 、須藤 誠 $^{1}$ 、齊藤 亮 $^{1}$ 、山本 淳史 $^{1}$ 、庄田 勝俊 $^{1}$ 、 赤池 英憲 $^{1}$ 、細村 直弘 $^{1}$ 、雨宮 秀武 $^{1}$ 、河口 賀彦 $^{1}$ 、井上 慎吾 $^{1}$ 、川井田 博充 $^{1}$ 、河野 寛 $^{1}$ 、 市川 大輔 $^{1}$ 1)山梨大学 医学部 外科学講座第1教室、2)京都府立医科大学 消化器外科学教室	91
P7-7	胃癌における TRPV2 の役割 ···································	92
一般演題8	3 消化器癌症例	
P8-1	長期生存が得られた Stage IV 胃癌の 2 例 ○長谷川 毅、佐久間 崇、木下 春人、中川 泰生、寺岡 均 馬場記念病院 外科	92

P8-2	術前診断に難渋した胆嚢粘液性嚢胞腺腫の1例 ○高橋 諒¹)、雪本 清隆¹)、三浦 光太郎¹)、坂下 克也¹)、文元 雄一¹)、手塚 健志¹)、澤田 隆吾¹)、 阪本 一次¹)、辻仲 利政²) 1)和泉市立総合医療センター 外科、2)和泉市立総合医療センター がんセンター	93
P8-3	早期(SM)直腸癌術後に多発肝転移および骨転移を来し、 急速に進行した1例 ○中川 泰生、寺岡 均、佐久間 崇、木下 春人、長谷川 毅 馬場記念病院 外科	93
P8-4	術前診断に苦慮した大網 GIST の 1 例 ○上原 英雄¹ <sup>1</sup> 、進 勇輝¹ <sup>1</sup> 、松本 佳大² <sup>2</sup> 、間野 洋平² <sup>2</sup> 、中ノ子 智徳¹ <sup>1</sup> 、中島 雄一郎¹ <sup>1</sup> 、杉山 雅彦¹ <sup>1</sup> 、 太田 光彦¹ <sup>1</sup> 、杉町 圭史² <sup>2</sup> 、森田 勝¹ <sup>1</sup> 、藤 也寸志¹ <sup>1</sup> 1)国立病院機構 九州がんセンター 消化管外科、2)国立病院機構 九州がんセンター 肝胆膵外科	94
P8-5	肺およびリンパ節転移再発に対する集学的治療にて 長期生存をえた直腸癌の一例 ○孝橋 里花、村橋 邦康、池谷 哲郎、城月 順子、澤田 鉄二 大阪掖済会病院 外科	94
P8-6	上行結腸癌術後同時性肝転移が自然消失した $1$ 例 ○山越 義仁 $^{1)}$ 、大谷 博 $^{1)}$ 、永森 瑞城 $^{1)}$ 、埜村 真也 $^{1)}$ 、中河 宏治 $^{1)}$ 、井関 康仁 $^{2)}$ 、福岡 達成 $^{2)}$ 、渋谷 雅常 $^{2)}$ 、永原 央 $^{2)}$ 、大平 雅一 $^{2)}$ 1)大野記念病院 外科、2)大阪市立大学 消化器外科	95
P8-7	乳房外パジェット病肛門部再発に対し広範囲切除および 会陰部皮弁形成・移動再建術を行った1例 ○松岡 翼、松崎 太郎、倉田 研人 社会医療法人 弘道会 なにわ生野病院 外科	95